

内閣府独立行政法人評価委員会
第7回宇宙航空研究開発機構分科会（JAXA 分科会）
議事要旨

1. 日時：平成25年8月7日（水） 15：00－16：45

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

（1）委員

薬師寺分科会長、山川分科会長代理、白坂委員、関委員、田辺委員

（2）事務局

西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

（1）平成24年度の業務実績に関する評価について

事務局から資料1～3に基づいて説明を行った後、委員から、以下のような質問等があった。（以下、○：委員、●：JAXA）

○「宇宙ステーション補給機（HTV）の開発・運用」について、JAXAによる自己評価結果が「S」となった理由は何か。

●HTVの打上げは3回行っているがいずれも予定時刻通りであったこと、荷物の積み込みについて様々な工夫をし、積載量を増やすとともに、作業期間を短縮したこと等、想定を超える実績を上げたことから「S」とした。

審議の結果、資料2については一部修正、資料3については「4. 国際宇宙ステーション（2）宇宙ステーション補給機（HTV）の開発・運用」の評価を「A」から「S」に修正することとし、分科会として了承された。

（2）第2期中期目標期間の業務実績に関する評価について

事務局から資料1、4、5に基づいて説明を行った後、委員から、以下のような質問等があった。

○「国際協力」について、JAXAによる自己評価結果が「S」となった理由は何か。

●国連宇宙空間平和利用委員会の議長及び国際宇宙航行連盟の会長に JAXA 堀川技術参与及び樋口副理事長が就任するとともに、「センチネルアジア」プロジェクト等を通じて入手した東日本大震災被災状況の観測データを日本政府に提出する等、想定を超える実績を上げたことから「S」とした。

審議の結果、資料4については原案どおり、資料5については、「10. 国際協力」の評価を「A」から「S」に修正することとし、分科会として了承された。

以上